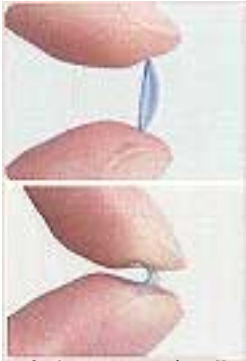


東レ独自の「やわらか素材」
ハードなのに、やわらかい。だから、割れにくい。



どんなに「つけごち」が優れていても、衝撃に弱く、扱いに特別の神経がいるようでは困ります。
ハードコンタクトレンズの、もうひとつのネックは割れやすいこと。お手入れ中、不意に力が入ってレンズを割ってしまった経験がある人も多いのではないのでしょうか？
東レのハードコンタクトレンズは、東レ独自の高分子テクノロジーから生まれた「やわらか素材」を使用していますので、外からの衝撃に対してもしなやかに曲がり、割れるのを防ぎます。

*実際にレンズを曲げるとご使用できなくなります。ご自分のレンズでは、絶対お試しにならないでください。

現在展開している東レのコンタクトレンズ

<<ハードコンタクトレンズ>>

“ブレスオー”ハードCL (1990年10月発売)

医療機器承認番号：20100BZZ00910000

高い水準の酸素透過性と割れにくさを同時にかなえた「やわらかハード」コンタクトレンズです。東レ独自の高分子テクノロジーから生まれた「やわらか素材」を使用。強度保持成分がガッチリと強く結びつき、外からの衝撃に対してもしなやかに曲がり、割れることを防いでいます。“ブレスオー”ハードCLの酸素透過係数(Dk値)は150。瞳にたっぷり酸素を通し、生活スタイルにあわせた長時間の装用が可能です。希望小売価格は27,000円/枚。



“ブレスオー”スーパーハード (1998年7月発売)

医療機器承認番号：20100BZZ00910000

高い酸素透過性とレンズ強度を両立した「やわらかハード」の特徴をそのままに、新デザイン『SFIT(ソフト&スリム・フィット・デザイン)』の採用により、レンズ周辺部がグンとスリムになり、デリケートな瞳に自然にフィットします。レンズの動きや、レンズ下の涙液交換をスムーズにすることを可能にしました。希望小売価格はオープン価格。



“ブレスオー”ハードII [フィット] (2007年12月発売)

医療機器承認番号：20100BZZ00910000

今回発売した、装用感をさらにアップさせた商品。希望小売価格はオープン価格。高い酸素透過性とレンズの耐破損性の特徴は「“ブレスオー”スーパーハード」そのまま。初めてハードコンタクトレンズを使用する方、過去にハードコンタクトレンズの違和感が嫌で断念した方にもおすすめの商品。

Breath-o Hard II



“プレリーナ” (2000年12月発売)

医療機器承認番号：21200BZZ00604000

酸素透過性の高い「老視矯正」用のハードコンタクトレンズ。希望小売価格はオープン価格。東レ独自の「やわらか素材」を使い、「見え方」にこだわった遠近両用レンズ。メガネのように視界をさえぎるフレームから開放されて、遠くから近くまで自然な視界を実現します。



<<ソフトコンタクトレンズ>>

“ブレス・オー”(1981年発売)

医療機器承認番号：15600BZZ00549000

東レがはじめて販売したコンタクトレンズ。“ブレス・オー”は、生体適合性の高い、78%が水分の高含水ソフトコンタクトレンズです。高含水率で角膜の代謝活動に影響が少なく、高い安定性を持っているので、白内障で水晶体を摘出された方に水晶体の代わりにソフトコンタクトレンズとして使用されています。もちろん近視・遠視矯正用としてのレンズも取りそろえています。現在、連続装用タイプのレンズはたくさんありますが、“ブレス・オー”は連続装用レンズ第1号として、承認を取得しました。

